

# 普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)11月13日  
所属名:甲賀農産普及課  
番号:C24015  
発信者名:元廣



## 新たな花きの産地づくりに向けて

甲賀ではユーカリを端緒として枝物・花木・草花類の新たな産地づくりに取り組んでいます。生産者の品質に対する意識向上と新たな品目栽培に対する意欲向上をねらい、11月7日に花き卸売市場の視察研修を開催しました。

甲賀では3年前から大阪の花き卸売市場にユーカリを出荷しています。出荷本数が増えてきた一方で、生産者によって出荷箱の入り本数がバラバラ、増加する害虫への対策意識向上といった点が課題となっています。また、ユーカリに取り組む他県産地も増えてきたことから、ユーカリ一辺倒ではなく栽培品目の幅を広げ、生産者が主体となって産地づくりに取り組む体制づくりが必要です。そこで、関係機関と連携しユーカリ生産者を対象に市場視察研修を企画・開催し、生産者11名が参加されました。

研修では、当課からこれまでの他産地視察や市場調査を踏まえ、JAと協議し有望と思われる品目を紹介しました。市場では担当者から信頼される産地の品質や先に紹介した品目に関する需要動向を説明してもらい、他産地の荷姿や実際の競りの様子を生産者に見てもらいました。研修最後に生産者組織として甲賀地域花木・枝物研究会への参加を提案し、生産者主体の産地づくりに向け誘導を図りました。事後アンケートでは参加した全員が出荷規格の遵守と品質の統一に対する意識が高まったと回答、うち5名が研究会への加入希望を示されました。

今後は今回の研修会に参加されなかった生産者に対しても意向調査を行い、研究会への参加を希望した生産者を集め活動内容を検討する場を設ける予定です。



左:競りを見学する生産者  
右:場内見学の様子